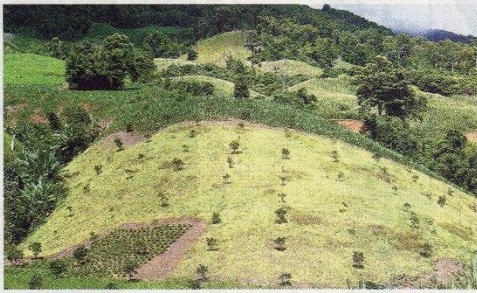


発行：2013年10月12日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

東京新聞 (夕刊) 2013年(平成25年)10月9日(水曜日) 開東京本社2013 (日刊)

遺伝子組み換え作物で荒廃

はげ山果樹で再生



はげ山の斜面に植えられたマンゴー

タイ北部

遺伝子組み換え(GM)トウモロコシの栽培が盛んになり、はげ山が広がるタイ北部の山岳地帯で、荒廃した山を再生しようと果樹を植える取り組みが進んでいる。指導するのは山口市のボランティア佐伯昭夫さん(66)。村人の先頭に立ち、持続可能な森林農業への転換を実践している。(タイ・バヤオ県で、杉谷剛、写真も)



■モン族の村
ラオス国境までわずか四キロ。山のてっぺん道を四輪駆動車で上がると、標高八〇〇以上の斜面にあるホイブム村



農業センターでコーヒーの苗木を育てる佐伯さん(右)とスタッフのジッポンさん(中)

日本人の指導 実る

に着いた。一九六〇年の家族ら六十二世帯の内戦でラオスから三百八十人が暮らす。逃れてきた少数民族モ 村でGMトウモロコシ

シの栽培が盛んになったのは七年前。欧米の生物化学メーカーが農薬や肥料とセットで大量の種子を売るようになったからだ。モン族は、利益の出るGMトウモロコシの栽培が急拡大。村の一世帯の平均月収は一万四千ギア(四万三千円)と倍になった。一方、保水力を失ったはげ山の弊害が深刻化した。現地スタッフで農業大学で学んだジッポンさん(66)は「雨が降ると川は赤茶色の濁流であふれ、下流域で洪水が頻発した」と指摘。さらに「農業に枯れないうちに開発されたGMトウモロコシ以外、植物や生物は生きられなくなり、山は地力も失った」と説明する。

■農業の恐怖
「痩せた畑はトウモロコシですら成長が悪く、このままだと村が壊滅すると思った」。農業を定着させ、荒れ危機感を強めた佐伯さんらは三年前から森林がえらせたい」

東京新聞

夕刊

中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211

え

銀座本店六丁目並木通り
登録商標商号

紙面から

FRB議長初の女性へ

タイはげ山を果樹で再生
ヒッグス検出に日本技術 ⑥ ③ ②